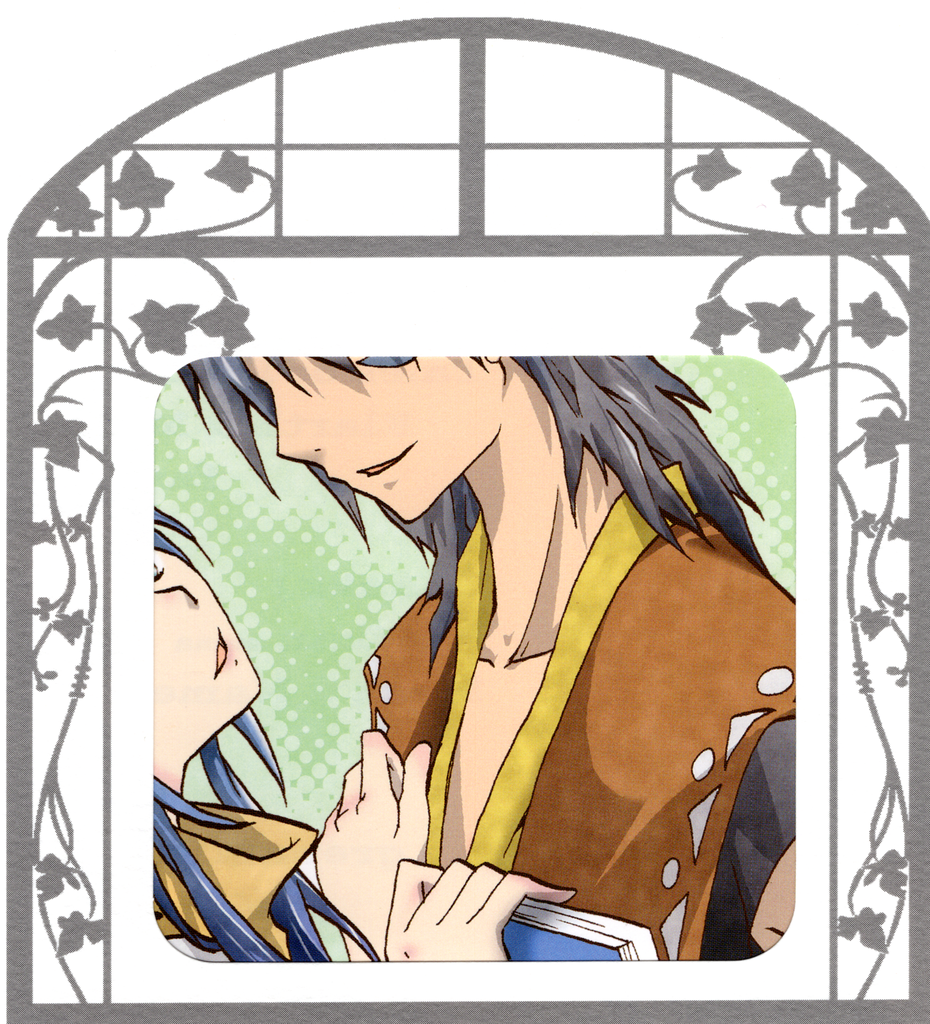
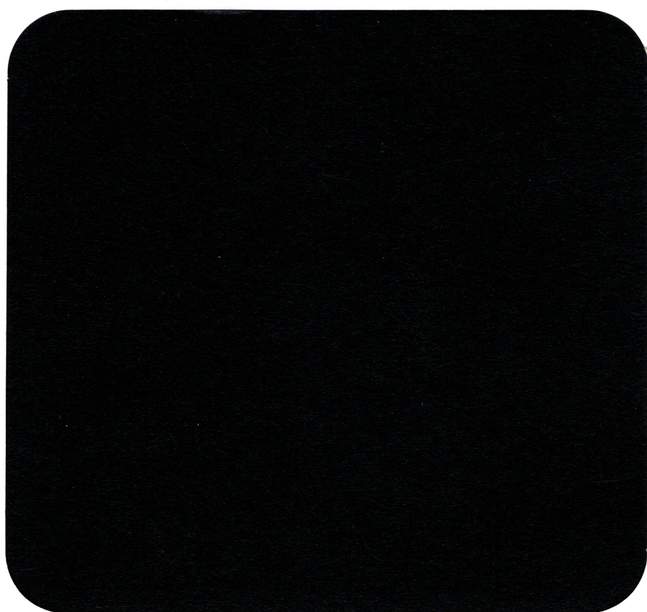


ブラインド・メッセージ

a blind message




あー…ハイ
すみません…
ねえ、これなあに？
SUKEBE!!!
あの娘の水着大特集
a blind message

Tales of Phantasia
Klarth & Mirald
fanbook

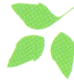
Thanks ;
Kurikan sama
Mach ☆ Namemiso sama

grenadilla / izmi
16 Sep. 2012





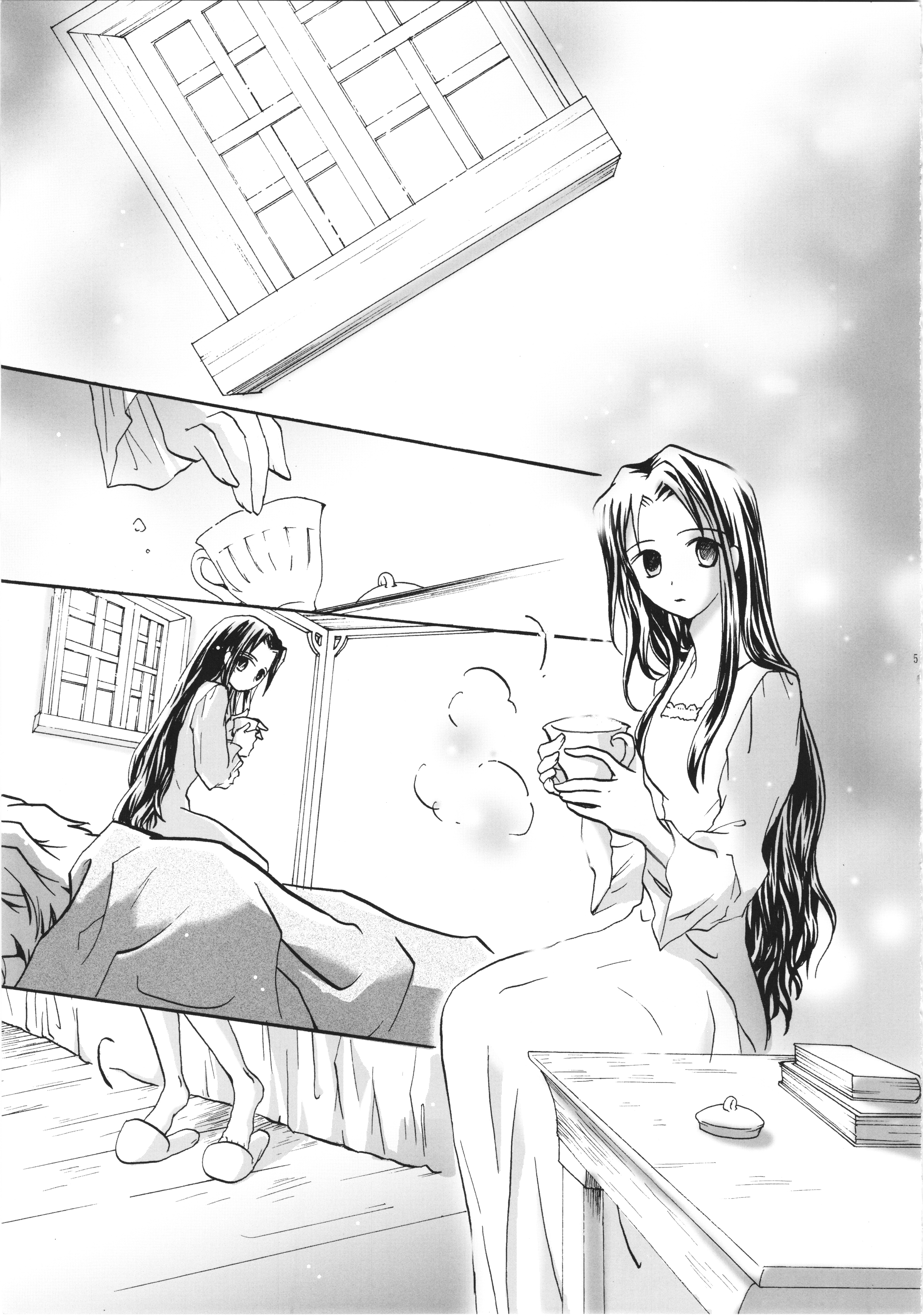
POST CARD



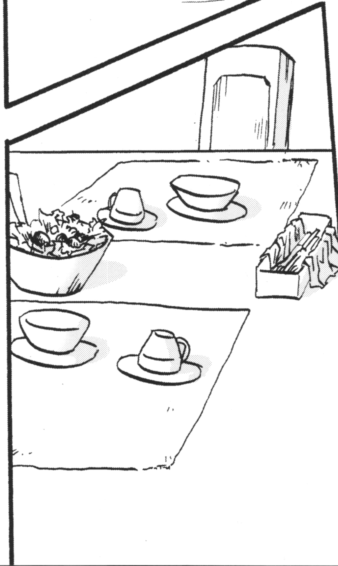


Tales of Phantasia

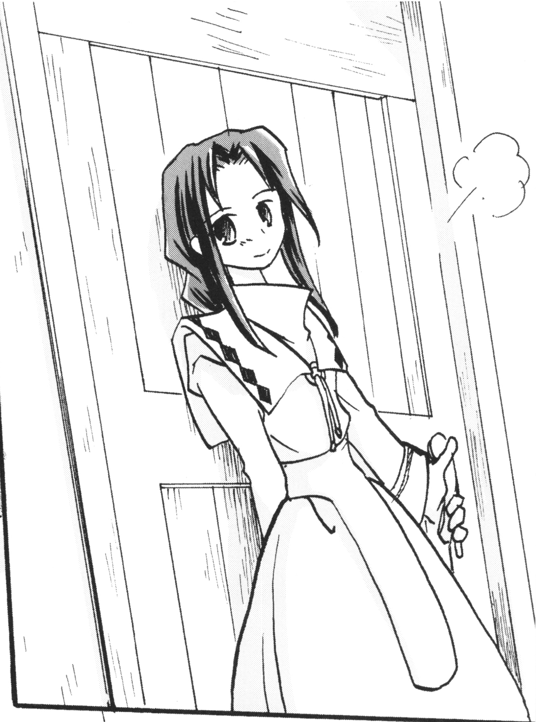
grenadilla 2012 http://www3.to/izmi







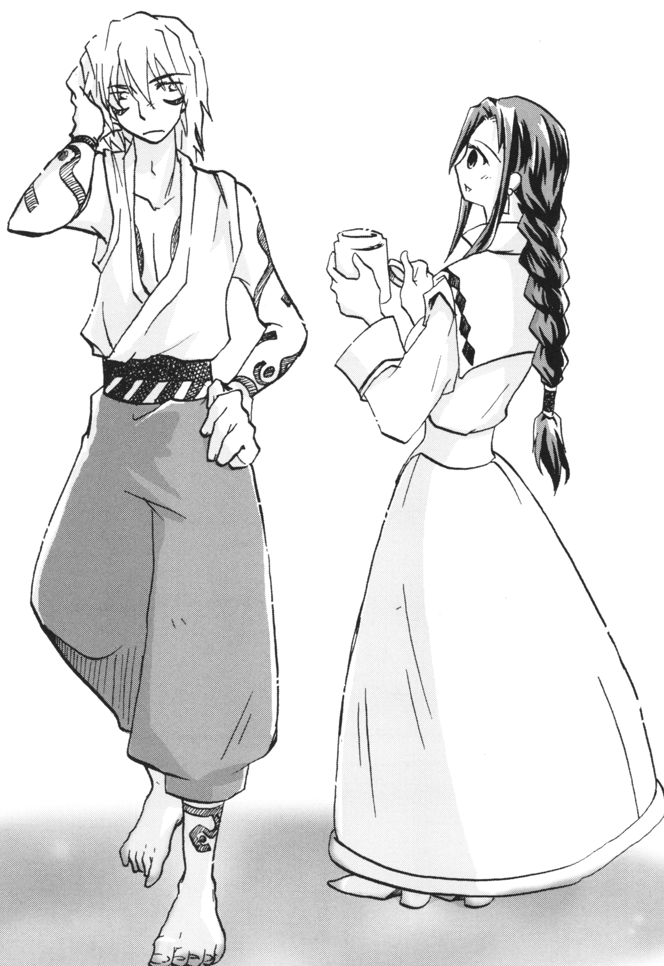



もぞ



おはよう

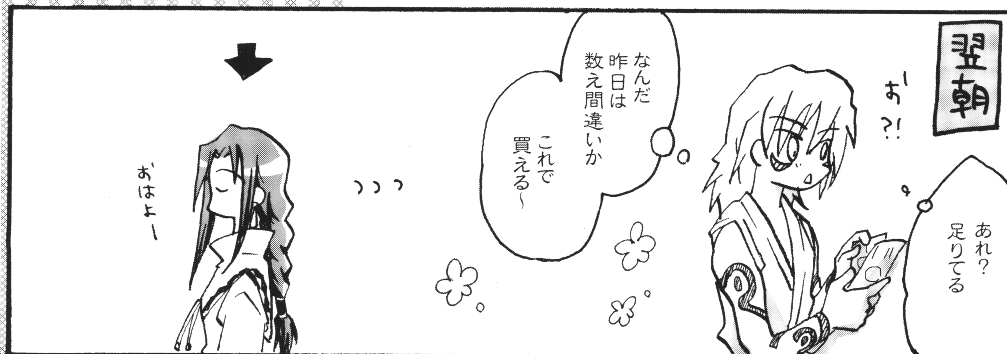


ナイジョノコウ。


んー、あの本
売りに出てたけど
ちょっと足らないか
いちまーい
にーまーい


クラース?
夕食に
するわよー
びくぅ
いっ
今行く!!




翌朝
お?!
あれ?
足りてる
なんだ
昨日は
数え間違いか
これで
買える～
おはよー

ぼくのミラルドせんせい

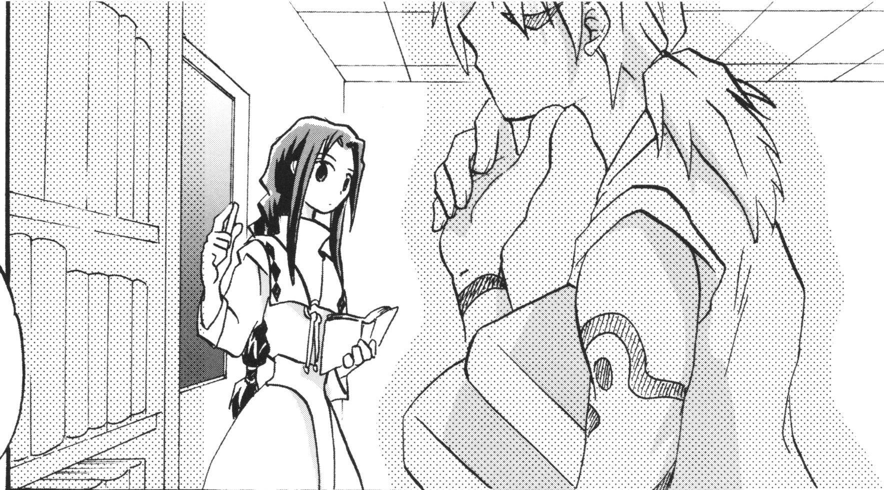
ぼくには
素敵な
先生がいる

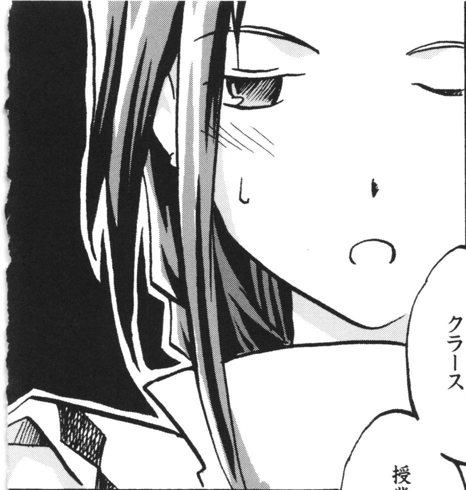
きれいで
やさしくて

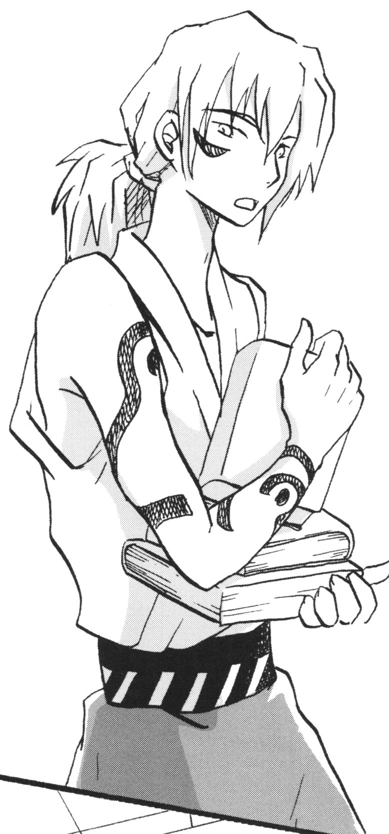
まさに理想の先生

でも ひとつだけ
——

カタン

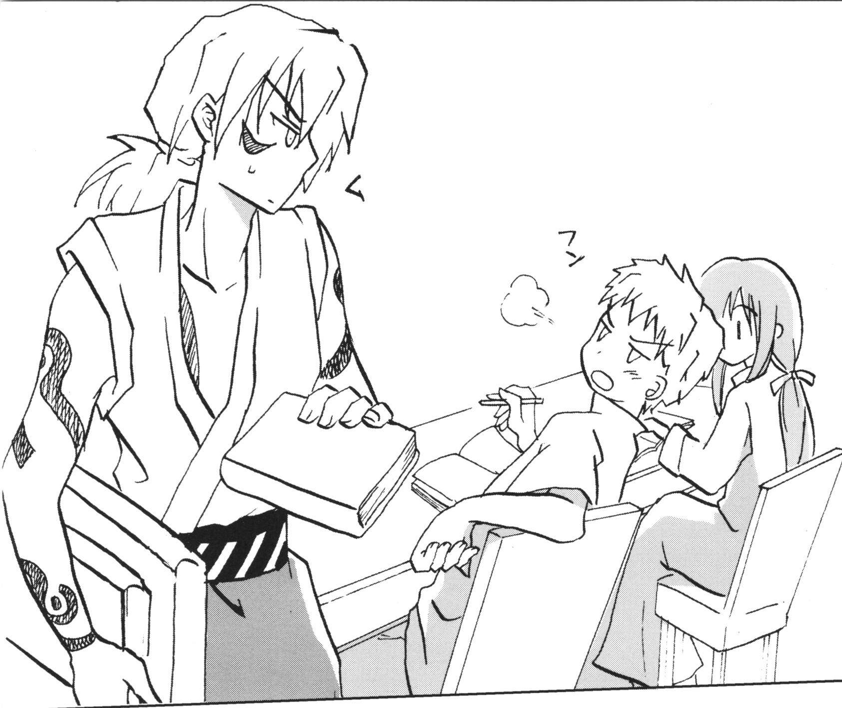



クラース
授業中よ


?
ああ
すまん
クラース・F・
レスター
学者
（自称）
この男と
同棲してること


必要な物は
授業前に取ってって
あれほど…
もう
行くからさ





セーレーだとか
ショーカン術
だとか

おとぎ話みたいな
ことを研究してて

……

生活費は
ミラルド先生が
面倒みてるらしい



かあちゃんが言ってた

もしぼくが大人だったら

先生にはそんな苦労絶対にさせないのに

ハハハハハ 先生もう心配いりませんよ

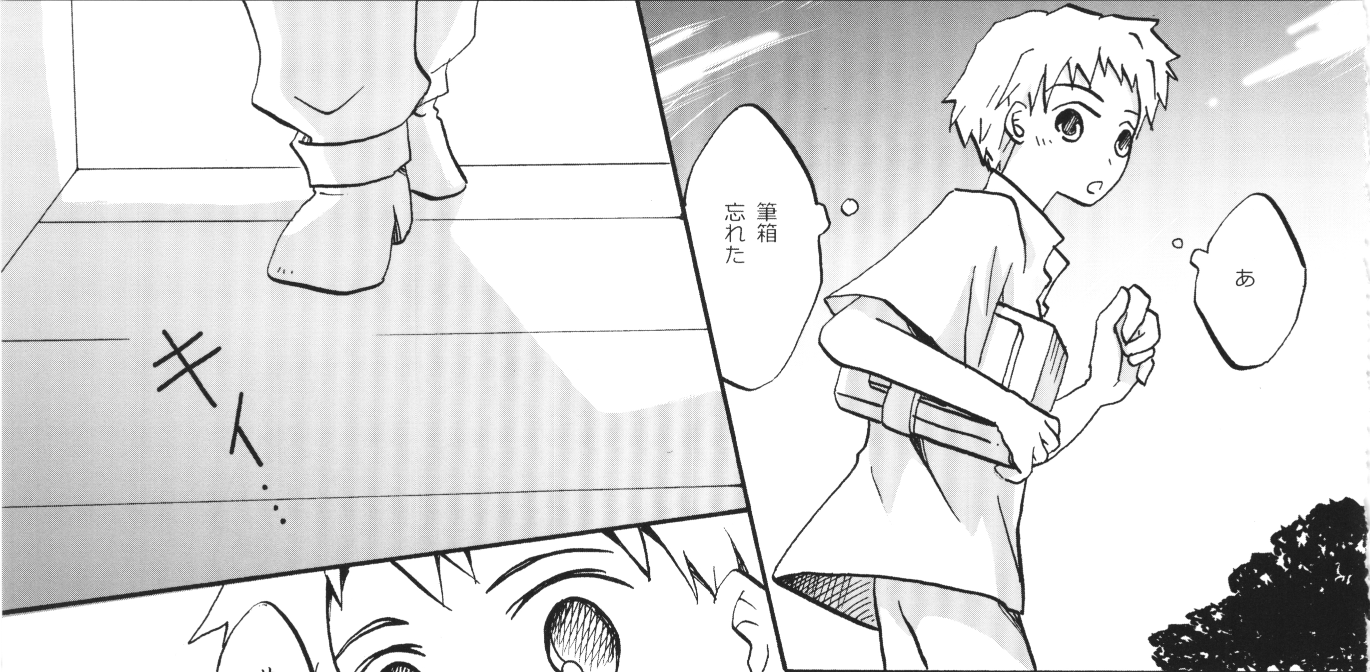
ううう…

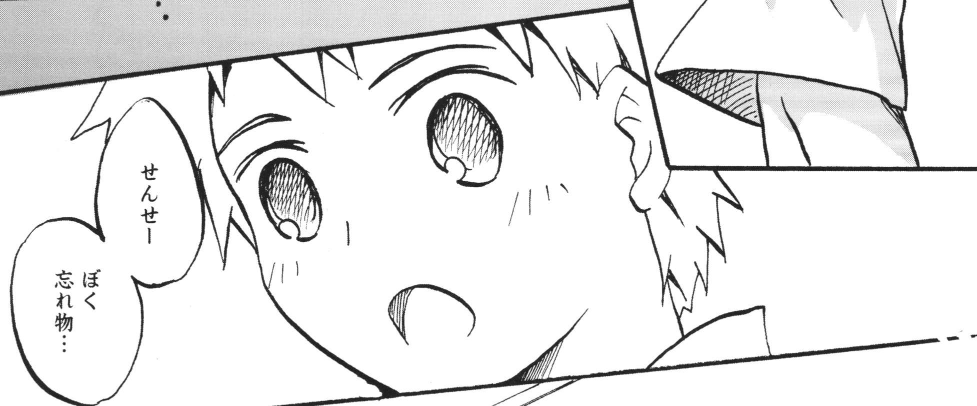
イメージ

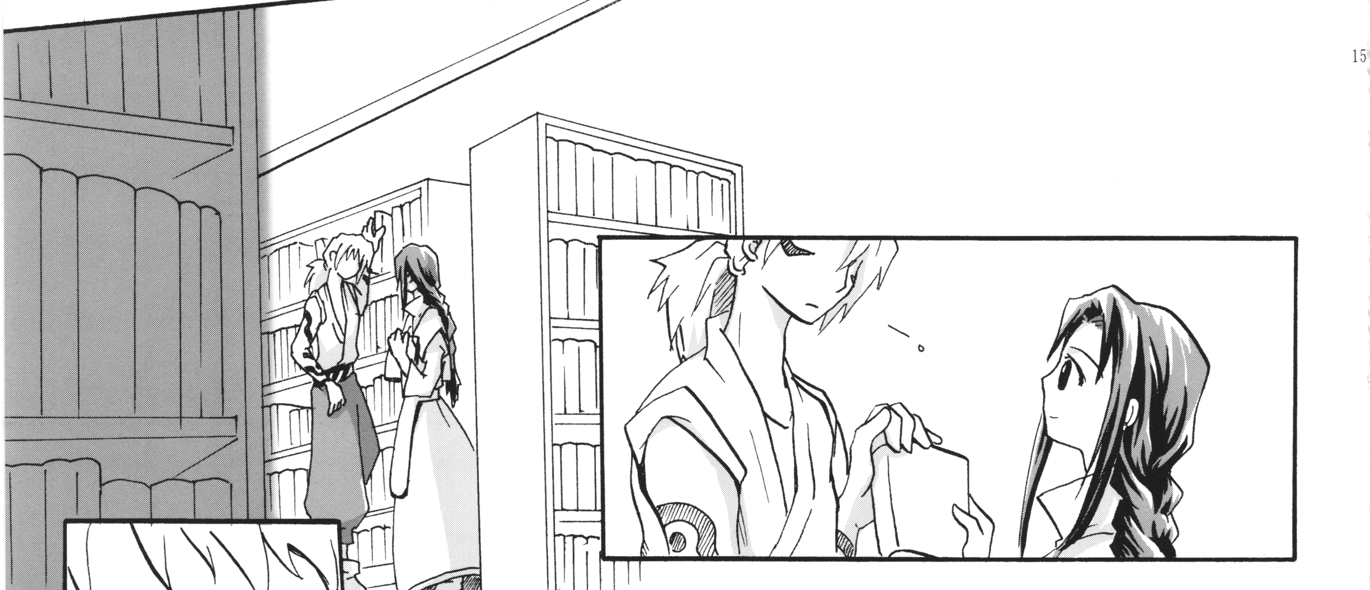


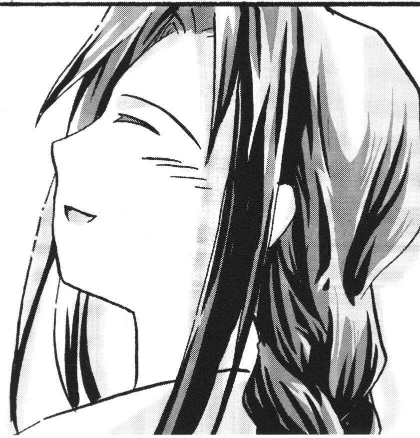
なんで先生はこんなやつ選んじゃったんだろう

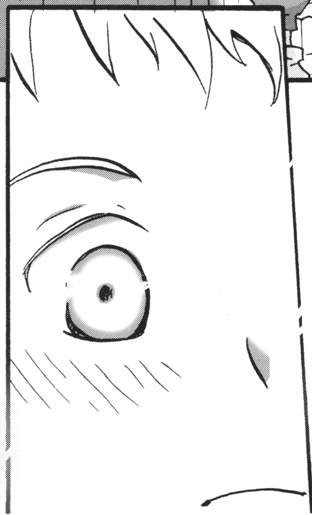
4

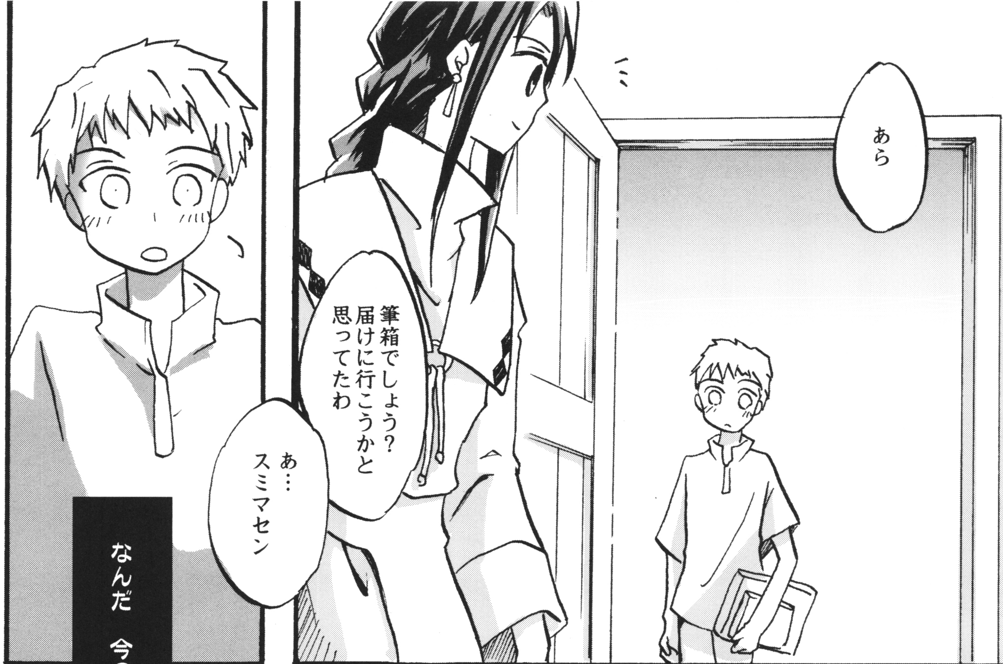

あ
筆箱忘れた
キィ…

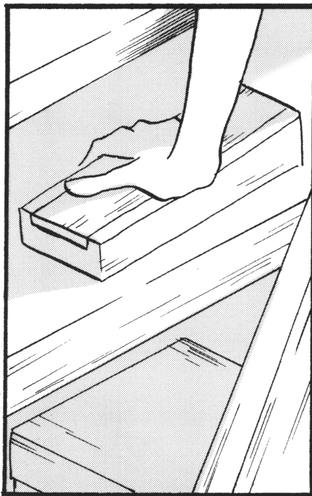

せんせー
ぼく忘れ物…


ー。

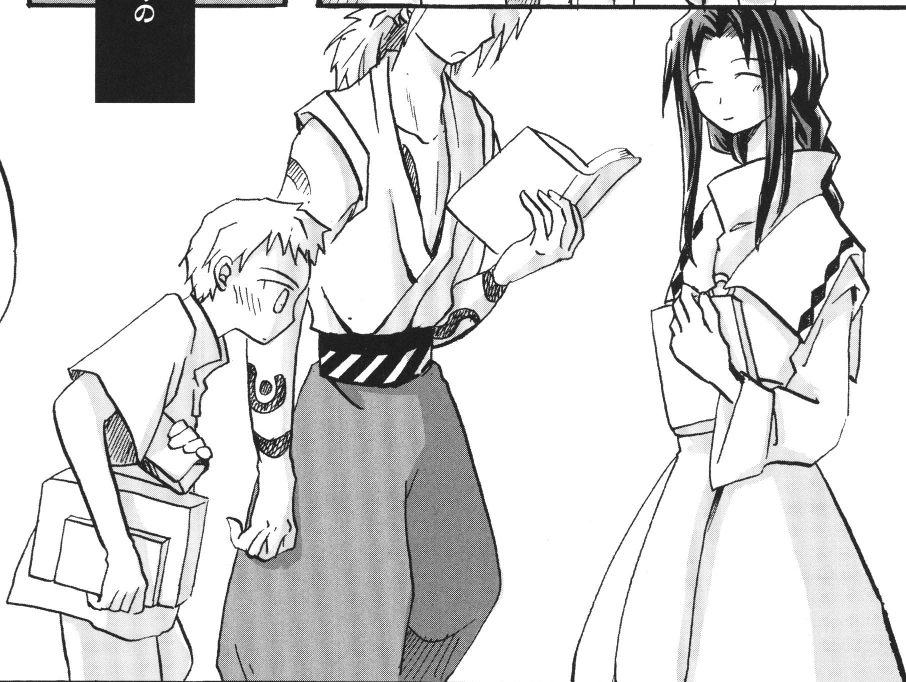


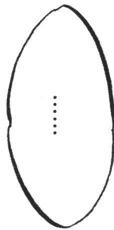






なんだ　今の









この本貸して

「マナ総量と経済推移概論」…

あなたには早いんじゃないかしら？

おい

ここには枕にするような本はないぞ

んだとぉ俺だってこれくらい読めらぁ

そうか

頑張れよ

ムカ

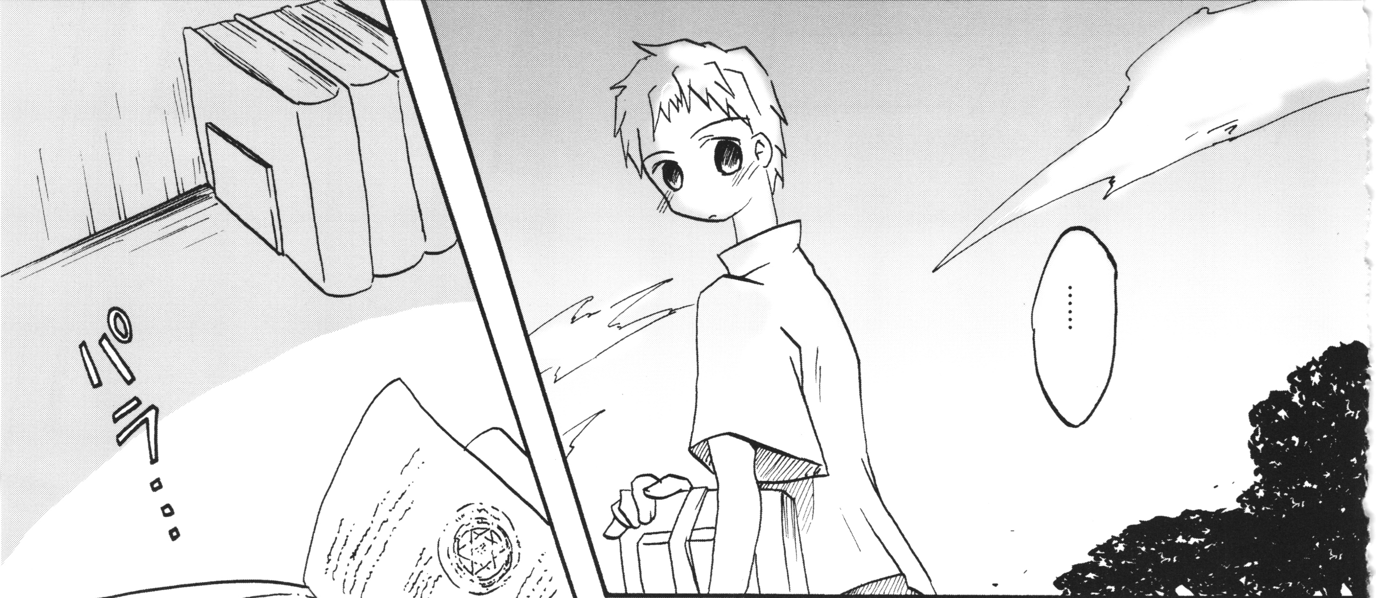
ムギュ

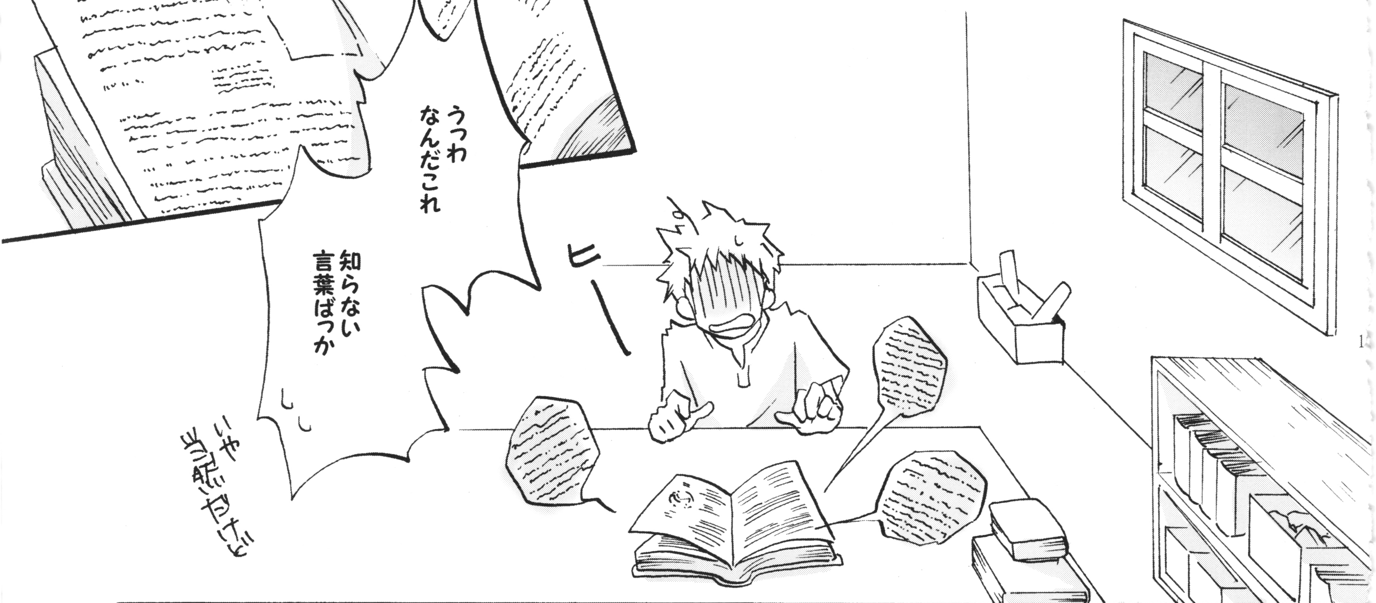
それじゃ
先生
さよなら！

ええ
また明日









頑張れよ

イラー

〜〜〜……

…いっぱい
勉強して

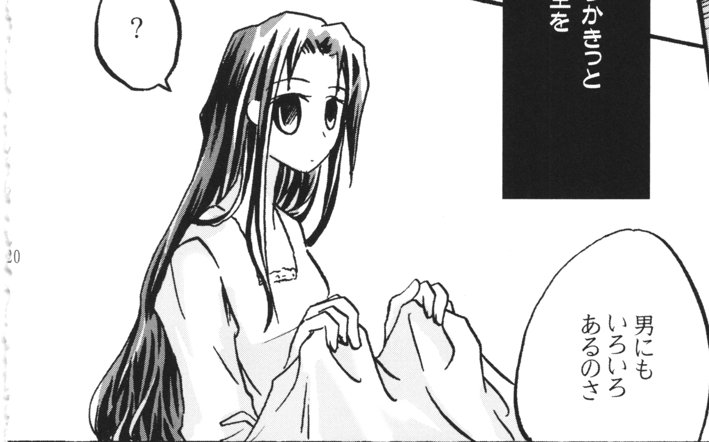
立派な
大人になって

はー

私も

うかうかしてられないなこりゃ





みてろよ

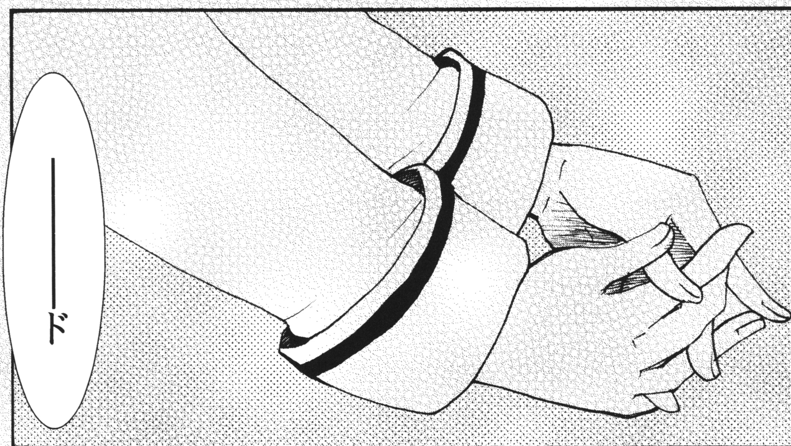
キミがいれば

栗缶

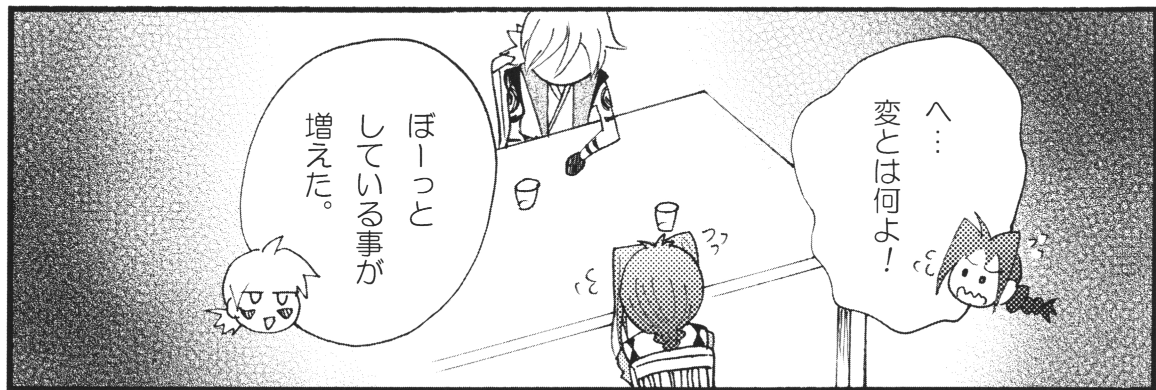
精霊の契約破棄から
数か月が経った。

クラースは相変わらず
研究を続けていて
何も変わる事のない日々が
ただ過ぎていく――…

長年の研究が実った『召喚術』。
それを手放して平気なはずはないと…
だから私が今まで以上に
支えてあげられたらって―そう思っていたけど…



ミラルド！
どうした？最近、お前変だぞ？
コーヒー入ったぞ
クラース…



あ…



精霊との契約も
破棄したっていうのに
何事もなかったみたいに…！

……

まあ…
淋しくないとは言わないさ。
しかし、長い間世話になった。

いつまでも
私の都合で縛り付けておく訳にも
いかないだろう？

それに
皆と過ごした日々は
私の中で変わることなく
生き続けていく

コト…

ああ…また

私の知らないクラース…

そんなの…

やせ我慢じゃない!!
本当はずっとずっと
精霊を傍で感じていたかった
はずでしょう!?

私は何でー


なんだ？
お前やけに精霊に拘るが…
こんなことをー
精霊に嫉妬でもしているのか？
なんてな


あ…


そうか
そうね
精霊たちは旅の間中
ずっとクラースに力を貸して
くれていたのよね

私は…何もできなかったわ

待っていてくれた

そんなのっ…！

ミラルドが待っていてくれたから帰ってこれたんだ

私の事を誰よりも理解してくれているのは

ミラルドお前だろう？

―そ、そうかしら

そうだ

誰よりも傍に居てくれた
支えてくれた
私自身がそう思っているのだから
間違いはない

……

…もうっ
相変わらず勝手なんだから

そ、そうか？

いやね。私…
自分で思っていたよりも
ずっと単純で、子供みたい…

貴方の言葉で
こんなにも嬉しいと
感じる——

…ミラルド
これからも私のそばに
居てくれるのだろう？
そう考えると、精霊たちと居た
時間なんて微々たるものだ。

あら？
これからもそうとは
限らないわよ？

えっええ!?
ミラルドぉ～

本当に勝手な事ばかり
言うんだから。
仕方ないから傍に居てあげるわ

おわり

Thanks !!



Kurikan sama

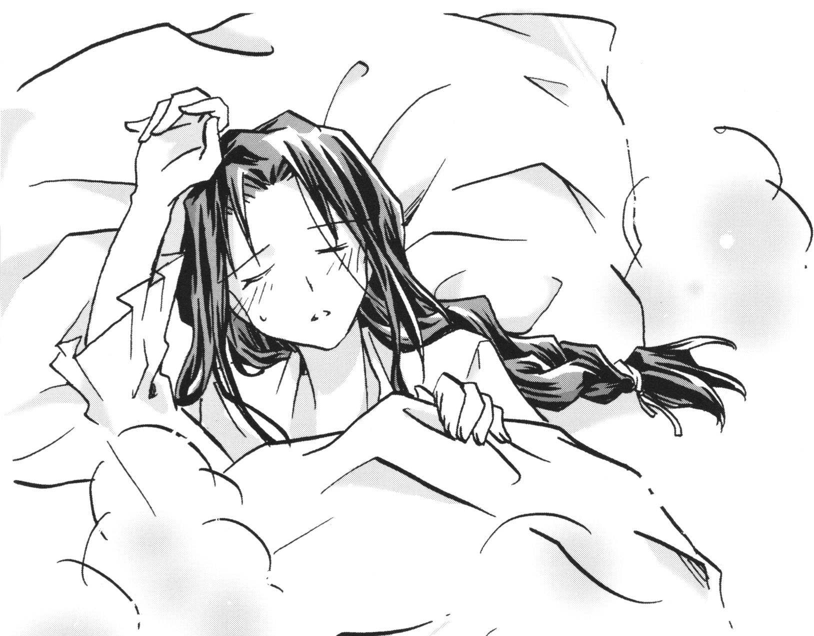
http://xxxhayamisan.web.fc2.com/

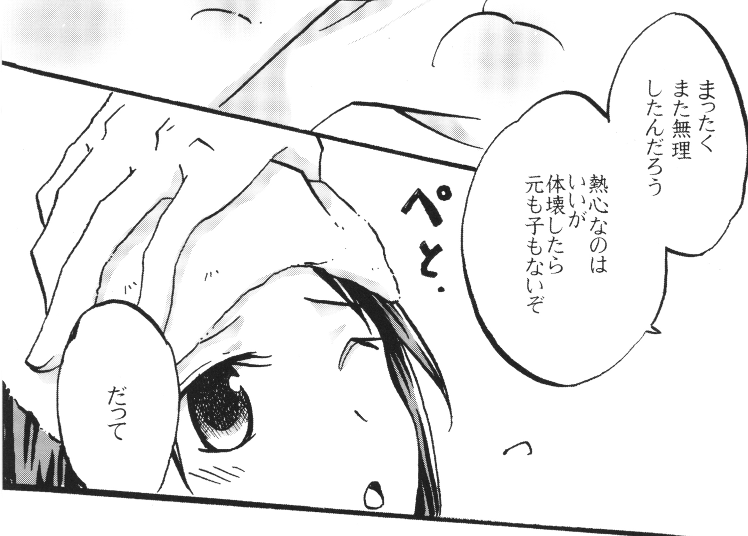


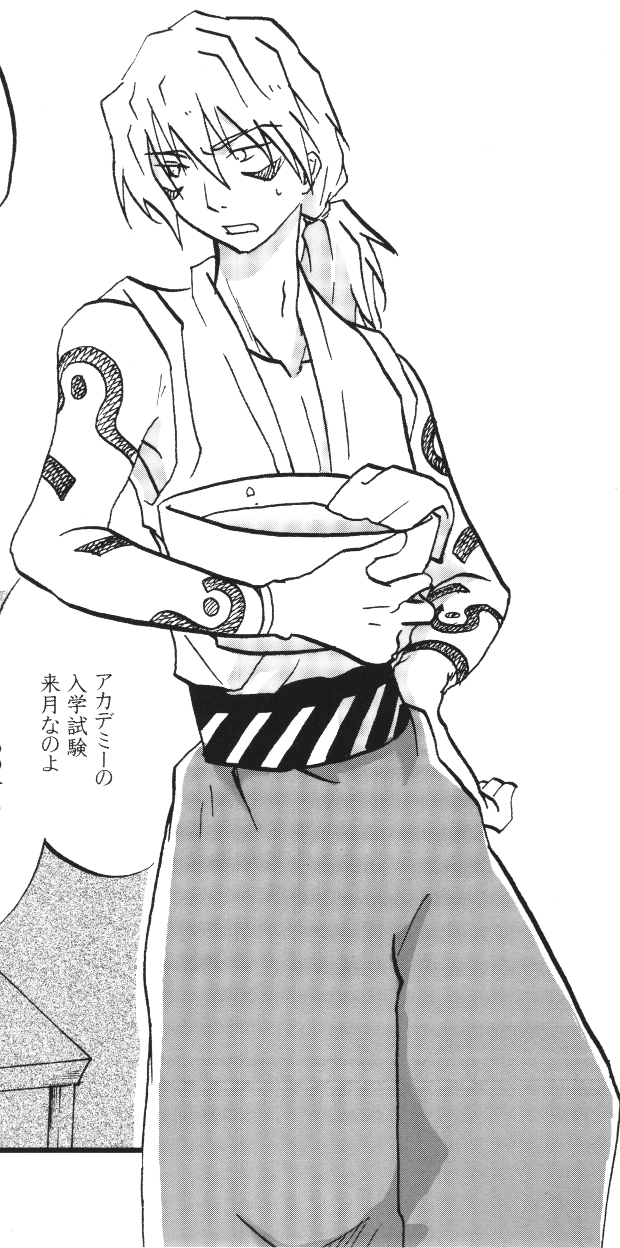
a
blind
message

鬼の霍乱(かくらん)、と言うのか

ミラルドが風邪をひいた





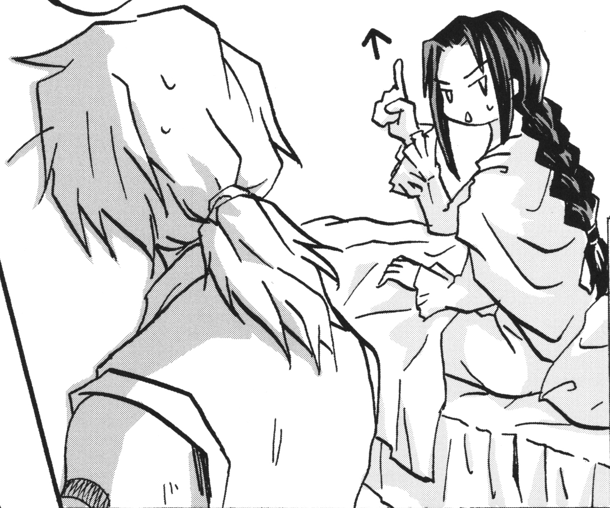




…私はもっと必死だったぞ
今日の授業は？
お休みにしてあるわ
もともと土曜だし
…そうか
私、早く治さなきゃね
くす.


さあ食え!!!


ぜー ぜー
「風邪にはビタミンCだ!!」って生のままジャガイモ出されるのはもうごめんだわ
あなたテンパりすぎ
言うな




なによー 部屋暖めすぎてサウナにもしたくせにー
うるさい!! うるさい!! 早く寝ろ!!


クラース


ありがと
……
ぞく



私の身がもたん

?

尻に敷かれマンの日常。

By マッハ☆なめみそ

システム









【レスター家Point】
その月の収入がないとお茶をいれてくれないシステムなのだ！（ミラルド考案）



悲しき杞憂

未来（クレス達の時代）の本屋にて

おお

面白そうな本がいっぱいあるなあ

あ…やっべ！

もし私のべ…ベストセラーみたいなやつがあったらどうするよー？どうリアクションとればいいんだよー？

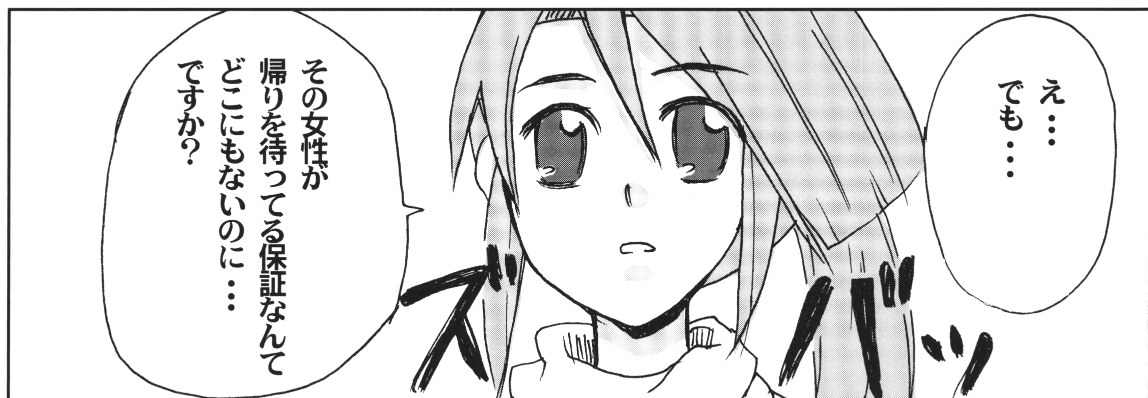
100年経っても色あせない
語り継ぎたい本
ミラルド・ルーン著

魔法学
著ミラルド・ルーン
色あせないベストセラー

悪気がないから困る

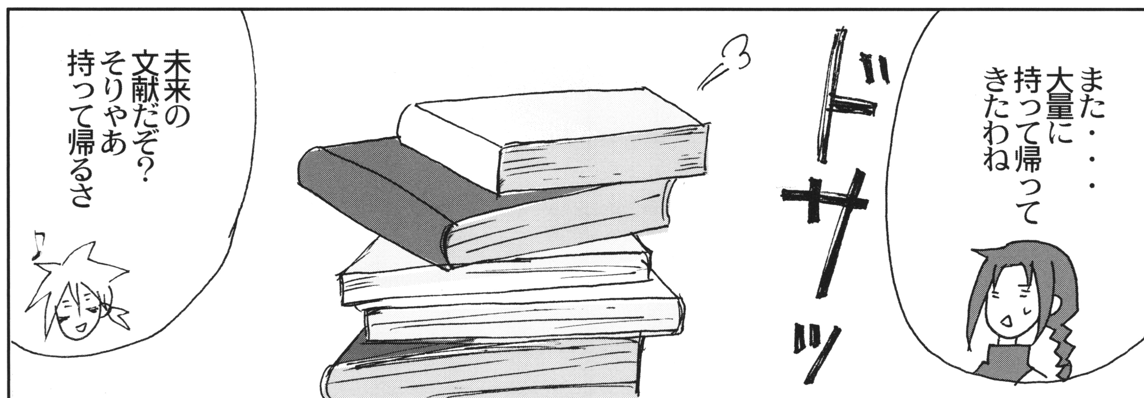

わー！
おいしそうな
パイじゃ～ん！
ホカー
ライゼンさん
からの
差し入れです
あー・・・
わたしは
遠慮しとくよ


そういえば
クラースさん
以前もパイを
たべてません
でしたね・・・？
あー
どうやら
ミラルドさんが新作のパイを
焼いて待っているから
それ以外食べないみたいなの

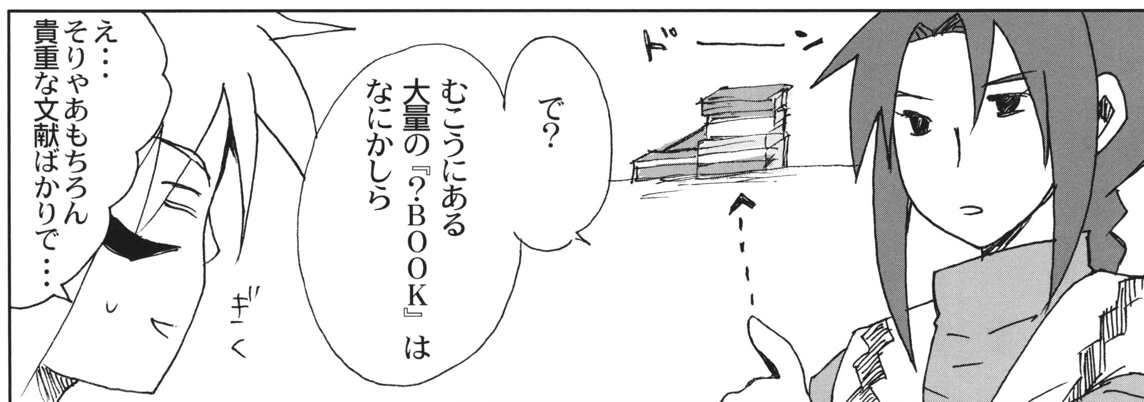

え・・・
でも・・・
その女性が
帰りを待ってる保証なんて
どこにもないのに・・・
ですか？
ズバッ


うっ！
え、あ・・・・！
効いてる
効いてる
ズーン

すぐばれるのに。



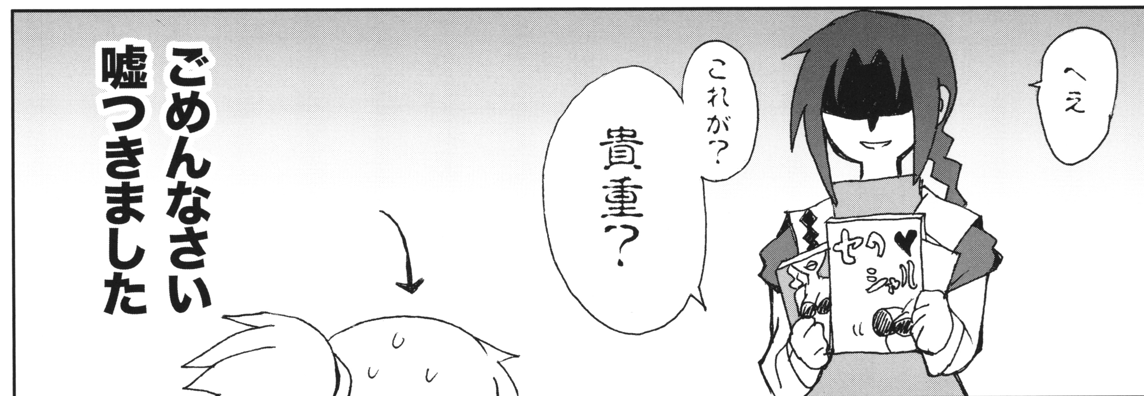
また・・・
大量に
持って帰って
きたわね
ドサッ
未来の
文献だぞ？
そりゃあ
持って帰るさ



ドーン
で？
むこうにある
大量の『?・BOOK』は
なにかしら
ギく
え・・・
そりゃあもちろん
貴重な文献ばかりで・・・



←ルーンボトル
バシャ
あ―――っ!!



へぇ
これが？
貴重？
ごめんなさい
嘘つきました

Thanks !!



Mach ☆ Namemiso sama

http://sunoko.namemiso.net/


コロン。

クラース？
なによ
これ
契約の指輪…
にしては
石がないわね
見れば
分かるだろう
契約の指輪だ
つん．
未知の精霊の
ものかしら、
それとも…
違う

お前と

私の、だ

……え

何?

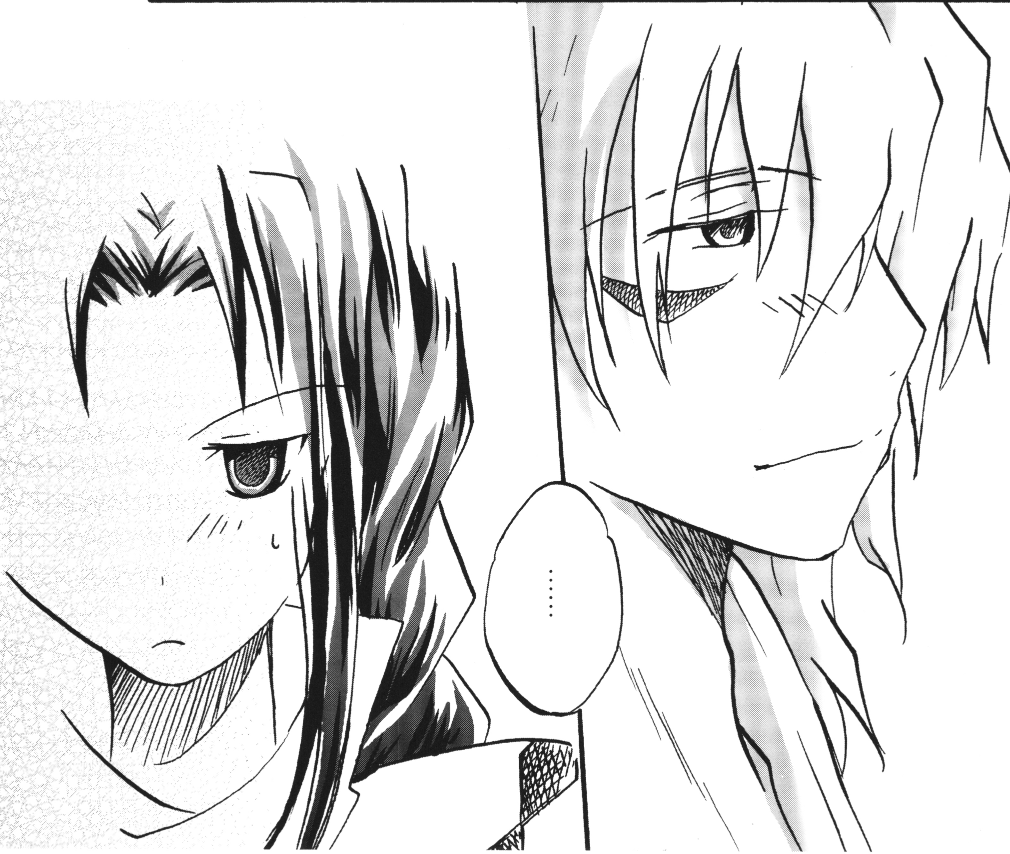
ちょっと
何よ今の
もしかして
プロポーズ?!

どういう風の
吹き回し?

う
うるさい!!

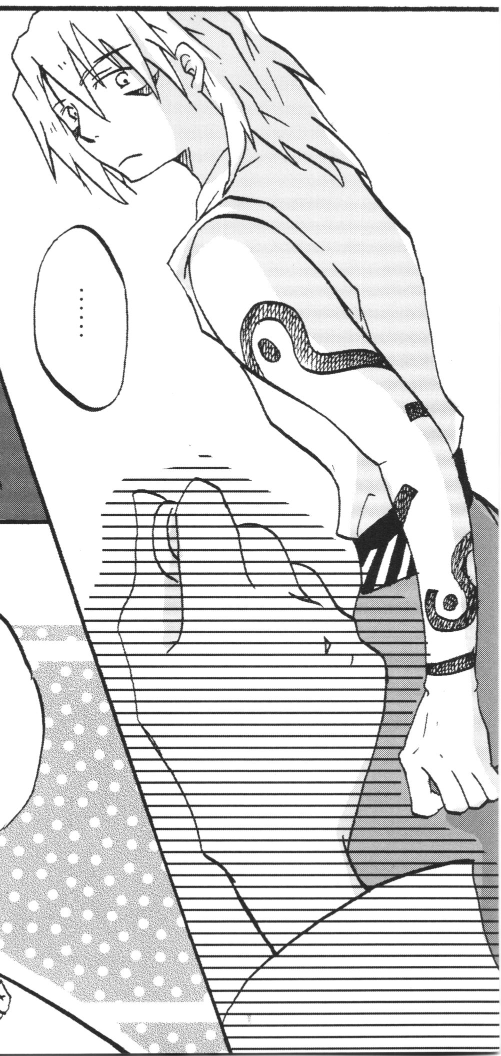

旅の目的はH足した
精霊の解放も
時間の剣の封印も終えた


片付いていないのは後はこれだけだ


いいから嵌めとけ
……

やり直し

返。







片付けるとか
なんとか

人を食器みたいに
言わないでくれる？
失礼しちゃうわ

大体何よ
今の

互いの人生が
かかってるのに
そんな言い方で
いいと思ってるの？

あなたは本当に
いつまで経っても
子供みたいなんだから

ぐ…

それにほら、
ちゃんと指輪
見て？

？

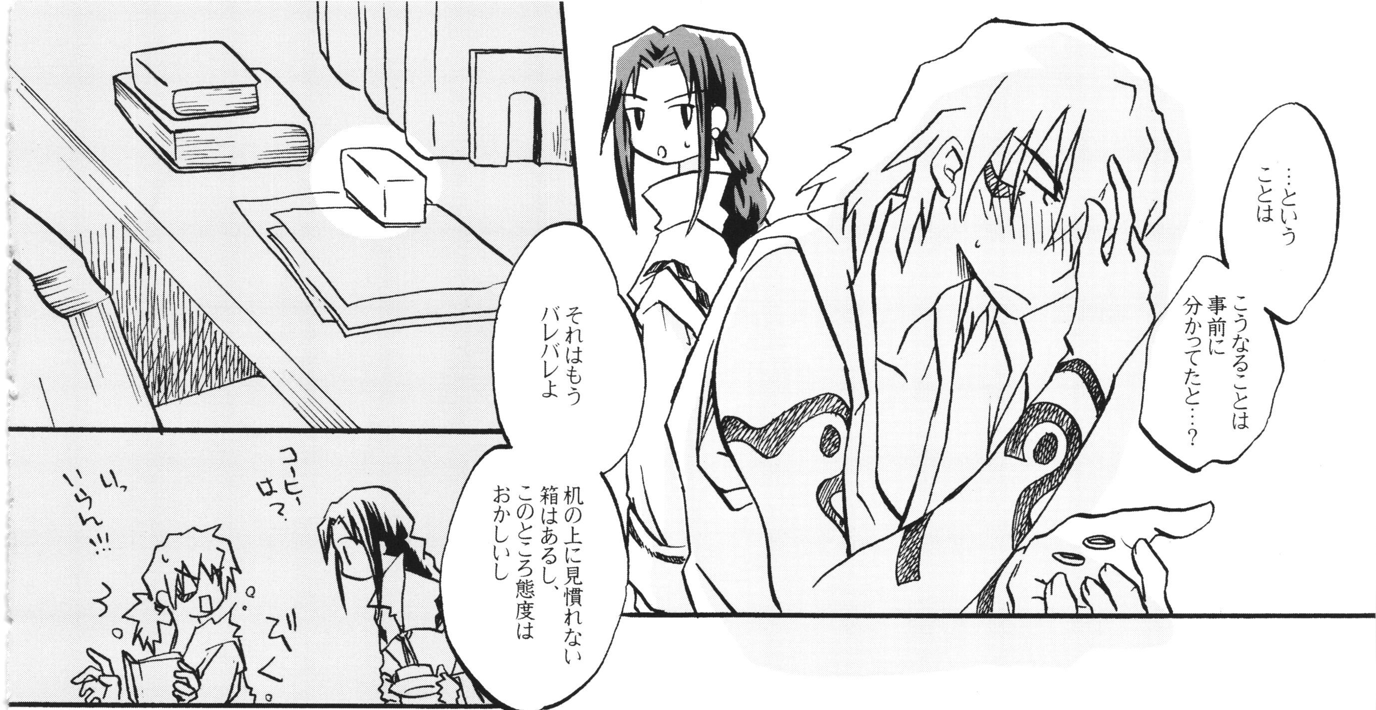
ふたつ…？

私だけって訳に
いかないでしょ、
鍛冶屋さんに
それに似せて
作ってもらったの

花嫁に用意
させるだなんて

普通逆よ？
まったく

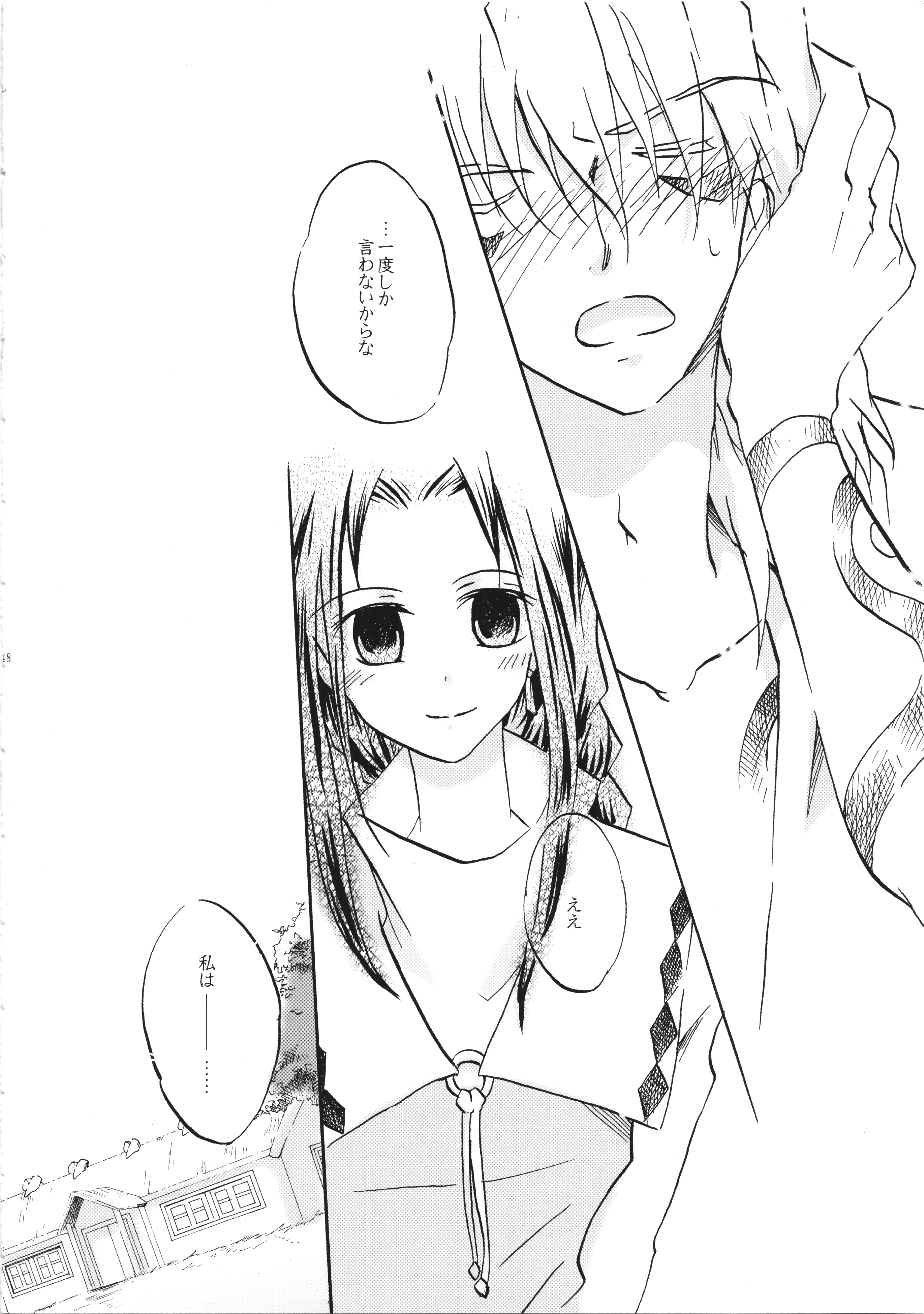
う



いったい 何年

あなたの隣に いると思ってるの？


ということで
やり直し！
はい
どうぞ
おいおい


…一度しか
言わないからな
ええ
私は――
……

で、だ

男が
一世一代の
台詞を
吐いたというのに

未だ状況に
進展がないのは
どういう訳だ？

あら、だって

この学校も
軌道に乗り始めた
ばかりだし

先々のことを考えると
やっぱりまだ
早いかしらって
そう思わない？

んーと
これも

ガン!!



あら
意外ね

あなたがそんなに
体裁を気にする
なんて

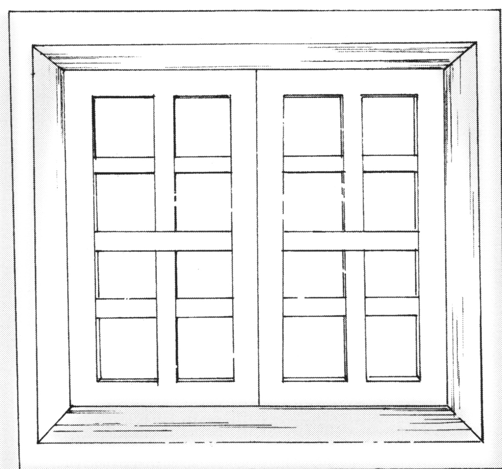
ぎくぎくぎくぎく

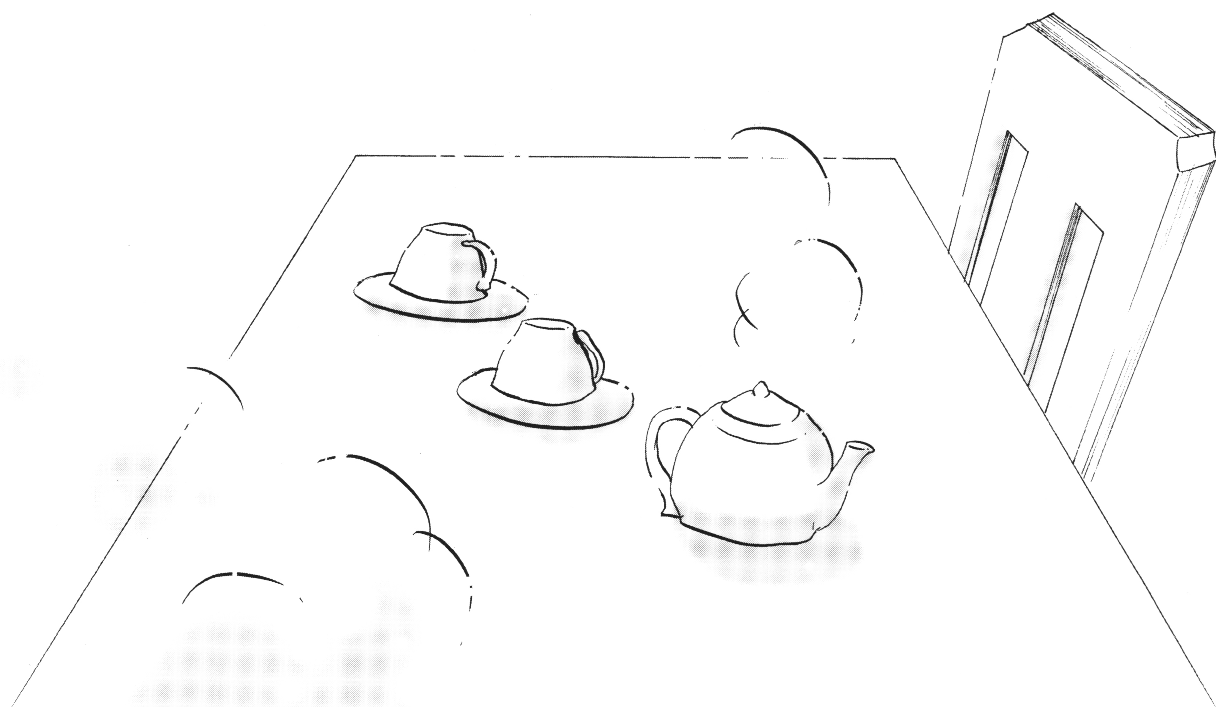
それともなあに?
実は縛られて
いたいってこと?





それじゃ
お茶に
しましょうか





52

ブラインド・メッセージ

グラナディラ / izmi
2012.09.16

grenadilla@mail.goo.ne.jp
http://www3.to/izmi

印刷：サンライズパブリケーションさま

Tales of Phantasia
Klarth & Mirald

grenadilla 2012

